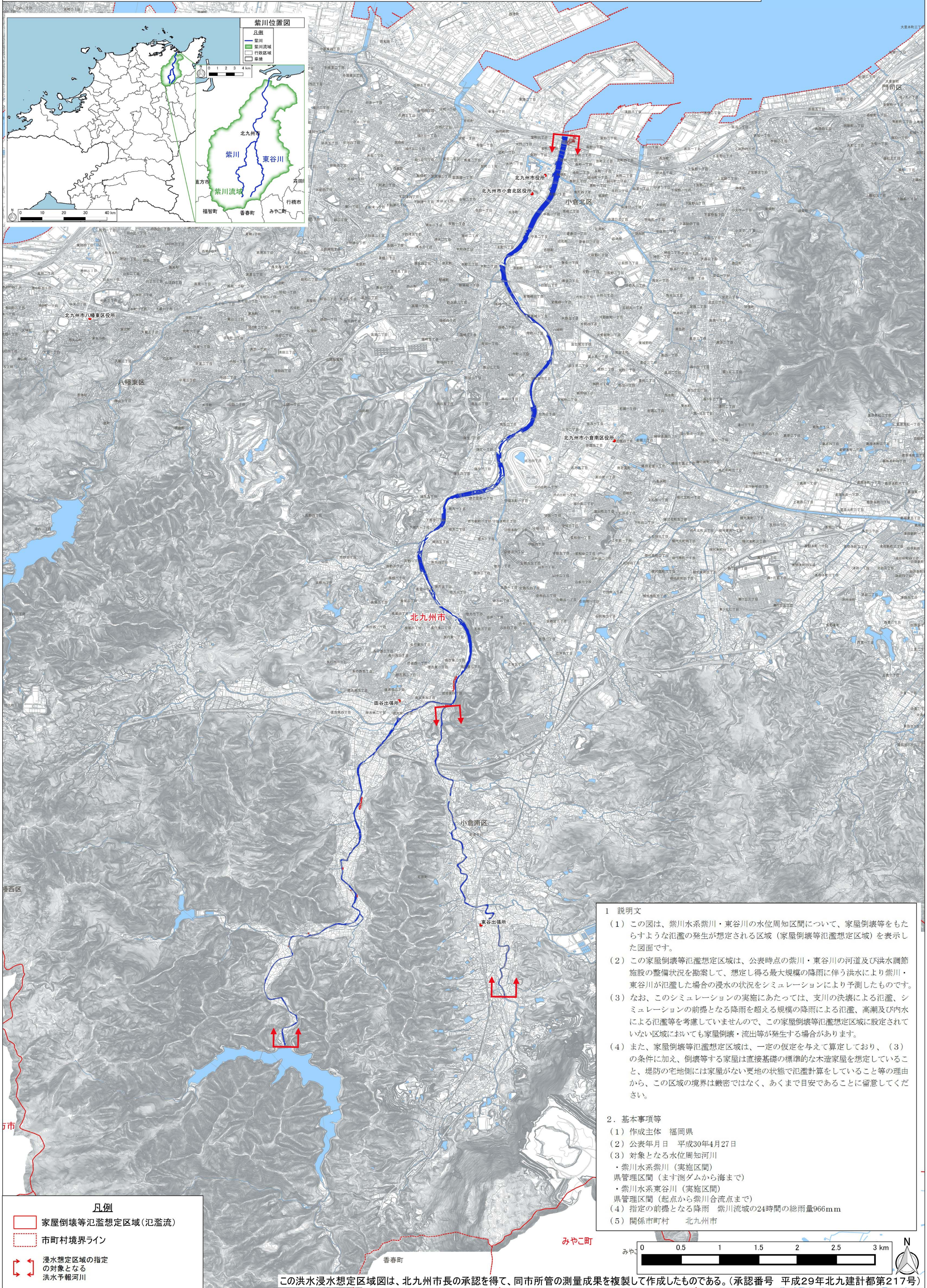


紫川水系紫川・東谷川洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等浸水想定区域図(氾濫流))



1 説明文

- (1) この図は、紫川水系紫川・東谷川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の紫川・東谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により紫川・東谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 福岡県
- (2) 公表年月日 平成30年4月27日
- (3) 対象となる水位周知河川
 - ・紫川水系紫川(実施区間) 県管理区間(ます湖ダムから海まで)
 - ・紫川水系東谷川(実施区間) 県管理区間(起点から紫川合流点まで)
- (4) 指定の前提となる降雨 紫川流域の24時間の総雨量966mm
- (5) 関係市町村 北九州市

凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 市町村境界ライン
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

この洪水浸水想定区域図は、北九州市長の承認を得て、同市所管の測量成果を複製して作成したものである。(承認番号 平成29年北九建計都第217号)